

学校だより

# 津久戸

平成29年8月25日  
新宿区立津久戸小学校

8, 9月号

充実の夏休み 校長 八田 瑞穂

＜阿波踊り＞

7月29日(土)の「神楽坂子ども阿波踊り」は、雨の中のスタートになりました。集合の時点で、雨模様であり、参加が危ぶまれましたが、PTAの林会長さんや本部・阿波踊りの係りの皆さんと相談し参加を決めました。例年にも増して、踊りやお囃子も上手で元気いっぱいの参加となりました。練習の時から「かぐら連」の方はじめ地域の方や保護者の方の応援を頂きました。

25年前に阿波踊りの学校参加を決めた第14代校長緒方良子先生も応援に来て下さいました。今回の阿波踊りの総括責任者の石井要吉さんは当時本校のPTA会長でした。このお二人のご尽力で「神楽坂子ども阿波踊り」はスタートしたのです。雨中での参加の中で、意気軒昂な子どもたちの姿を大変喜んで下さいました。

＜女神湖高原学園＞

次の週は5年生の夏季施設です。阿波踊りで雨に打たれたので、体の調子が心配でしたが参加予定者は、全員参加となりました。集団生活を過ごすにあたって、いつも子どもたちに言うのは、「ふだん学校では発見できない友達の良さを発見しよう」ということです。料理が上手だったり、友だちの面倒をよく見たり、あるいは、おとなしい子がリーダー性を発揮します。また、昨日はできなかったことが今日はよくできたりします。蒲団を敷くことや食事の後片付けです。要するに経験不足なのです。

保護者の方に感謝したいのは例年、津久戸の子はけがをすとか、病気になるらないのです。ふだんの生活が、安定しているからだと思います。

夜は句会をやりました。

「俳句」の紹介

山の声 風にゆられて ないている  
朝起きて 夜より寒い 冷やかかさ  
夏帽子 ふわりと風に のってゆく  
汗をかき 頑張った証拠に アブがよる  
山登り 前を霧が かくしてる  
下山中 降り始めたよ 夏の雨



学校図書館から

図書館担当

本校の学校図書館は、地域や保護者のボランティアの方々に支えられ、読書活動の推進を行えています。また、1学期の読書月間で行ったファミリー読書では、ご家庭のご協力により、もっと続けていきたいという感想が多く寄せられました。皆様に、感謝申し上げます。

今後、益々求められるのは、子どもたちの探究心を支える読書力だと言われています。読書力の中には、本を読み通せることと、知りたいことにつながる情報を自分で得られることが含まれます。これらは、日々の読書が積み重ねられて身につけていきます。

子どもたちは「図書の時間」を中心に、2～3年生は1年間で100冊、4～6年生は10000ページを目指して読書の記録を付けています。ぜひ、ご家庭でも励ましのお声かけをお願いします。学校図書館支援員の金子清かさんや学校図書館スタッフの鈴木佳代子さんには、学習单元に関わる資料や本の提供、子どもたちの興味・関心に合わせた本の紹介、調べ学習のサポート等をしていただいています。

これからも、子どもたちにとって本を身近に感じられ、図書室が心地よい居場所となるよう、環境整備に努めてまいります。

今年度の研究について

研究主任

校内研究は、学校の教育目標の具現化を目指し、教師が共同で取り組む研究活動です。今年度は「対話的・主体的で深い学びを実現する授業づくり～各教科における学校図書館の活用～」としました。低・中・高学年分科会にそれぞれ専科教員が加わり、研究を進めています。

津久戸小学校では、平成17年度から平成19年度の3年間「自ら学び、よりよく問題解決をしようとする児童の育成～学校図書館の活用を通して～」というテーマで校内研究を行いました。平成20年1月には研究発表も行っています。その当時から「学校図書館を活用した調べる活動」が本校の特色になっています。

平成32年から小学校で全面実施になる新学習指導要領は、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」、その結果「何ができるようになるか」の視点で改善されています。そこで、津久戸小学校の研究でも、新学習指導要領を意識し、本校の特色でもある学校図書館を活用した授業を通し、児童一人一人の課題に応じた「主体的・対話的で深い学び」を実現させていけるように研究を進めていきます。

## 夏季施設を終えて



### 夏季施設担当

7月31日（月）～ 8月2日（水）に夏季施設（女神湖高原学園）がありました。5年生にとっては心待ちにしていた初めての宿泊行事ということもあり、1学期から楽しそうに準備を進めてきました。

1日目。鷹山ファミリー牧場で4輪バギーとトラクター乗車体験をしました。4輪バギーでは、遊園地の乗り物とは違い、自分で運転しなければならない難しさに悪戦苦闘していました。お昼ご飯は班の友達と協力してバーベキューをしました。青空の下で友達と協力して作り上げたバーベキューはお肉たっぷりでもとても美味しかったです。夜はキャンプファイヤーを行い、レク係を中心に大変盛り上がりました。

2日目。天気が心配でしたが、予定通り車山のハイキングに出かけました。日差しも強すぎず、無事全員が登りきることができました。山頂の空気は格別に美味しかったです。リフトで下山中には雨に降られましたが、それもいい思い出になったのではないかと思います。予定より早めに戻った宿舎では、ワイワイ、キャーキャーと友達と楽しく過ごしていました。夜は校長先生と俳句を作りました。どの子も真剣に取り組んでいる姿を見て、さすが、津久戸の子どもたちだなと感心しました。

3日目。信州立岩・和紙の里に行きました。紙漉きを体験し、うちわを作成しました。思い思いに絵付けを行い、世界に一つしかないうちわを作りました。作ったうちわは9月に届く予定ですので、楽しみに待っていてください。

帰りの道路も渋滞することなく、予定通り元気に学校に帰ってくることができました。

この3日間、時間を意識して動くということがとてもよくできていました。今回お世話になったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今後の学校生活を大切に過ごして行ってほしいと思います。

#### 8・9月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・学校のきまりを守ろう。
- ・廊下を静かに歩こう。
- ・学習の準備をきちんとしよう。



暑い日が続いたかと思うと、梅雨に逆戻りしたような天候不順な夏休みでした。体調を崩されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、2学期が始まりました。朝、気分よく、さわやかに登校できるように、生活リズムを見直したり、持ち物をしたりと、家庭でのご協力をお願いいたします。

（生活指導部）

津久戸小学校 体罰根絶に向けたスローガン

言葉で伝えよう！伝える言葉を大人は磨こう！